

目指す学校像スローガン

“地域と共に学び 地域と共に創る学校”

戸田第一小学校 校訓

- 誠実…陰日なたなく真心で人に接し、心優しくまじめな人であって欲しい
- 剛毅…強い心を持ち、正しさに向かって力強く生きる人であって欲しい
- 勤儉…よく学び、よく働く、人のためにために尽くす人であって欲しい  
むだを省き、節約する気持ちを大切にする人であって欲しい

校訓の教えは、地域の学校としての願いであり、その基礎の上に一人ひとりの児童に「生きる力」を培い、創造的かつ心豊かに生きていく人間の育成をめざしていくものである

1 学校教育目標 ○気づく ○創る ○助け合う

○気づく

「あれっ」「ふしぎだな」「どうしてだろう」いろいろな事象に関心を寄せ、疑問を持つことを大切にする。そこから勝負。自ら進んで学んだり、調べたりして疑問を解決し、理解していく子を育てる。

- ・児童…ものや物事に幅広く興味を示し、感動する心を持った子  
体験や経験を通して学び、自分の成長を感じることができる子
- ・教師…児童理解と教材研究を深め、一人一人の子の興味・関心を高める提示や指導の方法の工夫  
子どもの感動に共感し、子どもの成長を見いだせる教師

○創る

子ども一人一人が自分のよさを生かして、自分の考えた方法で問題を解決したり、既存のものにこだわることなく創りだしたりすることに限りない喜びを持てる子を育てる。

- ・児童…夢や希望・願いを持ち続け、自信を持って創造的に取り組む子  
失敗を恐れず挑戦することに喜びをもつ子
- ・教師…子どもの思考・活動のよさを認め、よりよき方向へと導く教師  
自ら学び、常に子どもの活動を中心とする授業を創造する教師

○助け合う

人はひとりでは生きてはいけない。多くの人々が支え合って生きていけることを知り、お互い協力し合って心豊かな生活をしていく子を育てる。

- ・児童…自分のよさを意識できる子【健全な自己肯定感】  
相手のよさを知り、お互いのよさを認め合いながら力を合わせる子  
高いコミュニケーション能力を身につけている子
- ・教師…子ども一人一人のよさを見抜き、目をかけ、手をかけ、言葉をかけ、相手のよさを認め合う指導を通して、助け合う心をはぐくむことのできる教師

## 2 学校経営方針

学校教育目標を効果的に達成するために、教職員の総力を結集して、特色ある学校づくりを推進する。

- (1) 報告・連絡・相談・確認を密にし、校内組織の機能を十分に発揮しながら、創造的な組織活動の推進に努める。
- (2) 保護者・地域と共に、教育環境の整備・充実を図り、安心して安全な学校づくり、豊かな心を育てる教育環境づくりに努める。
- (3) 深い児童理解と共感の微笑を持って児童の活動を支援し、児童一人一人の充実した学校生活の実現に努める。
- (4) 豊かな体験活動をとおして児童の心にひびく教育の充実を図り、豊かな心の育成に努める。
- (5) 教職員相互の敬愛と創造・協働の姿勢を持ち、一丸となって「子どもも大人も元気な学校」づくりの担い手として意図的・計画的に教育活動推進に努める。
- (6) 社会の変化に対応した学校運営に努め、保護者・地域との連携を密にし、信頼と期待に応える教育活動を展開する。
- (7) 「教育に関する3つの達成目標」の推進を図る。
- (8) 「確かな学力づくり宣言」の推進を図る。(平成15年9月18日)

### ◆めざす学校像 ～ 地域と共に学び 共に創る学校 ～

子どもが喜んで通う学校

保護者・学校応援団も元気になる学校

教職員がやりがいを感じる学校

- ①子どもが生き生きと活動する学校 分かる喜び、できる…、学ぶ…、挑戦する…
- ②助け合い、励まし合いのある学校
- ③美しく整えられた学校。
- ④子どもを中心に保護者・地域・学校が力を合わせる学校
- ⑤安全で安心できる学校

### ◆めざす教師像

- ①子どもを愛し、教育に情熱を燃やす教師
- ②健康で、明るく仕事に取り組む教師
- ③教育公務員としての使命感と責任感を持ち、常に学び続ける教師。
- ④教職員相互の敬愛と協働の姿勢あふれる教師。

### ◆めざす保護者像

- ①人間としての生き方を教えられる保護者
- ②親の役割をしっかりと果たせる保護者

## 3 本年度の努力点 “アクションプラン10”

- (1) 新学習指導要領の趣旨の徹底と確実なる実施
- (2) 確かな学力をはぐくむ学習指導の充実(学力達成目標の推進)
- (3) 豊かな人間性や社会性をはぐくむ心の教育の充実(規律ある態度達成目標の推進)
- (4) 確かな児童理解を基盤にした生徒指導の充実(規律ある態度達成目標の推進)
- (5) 全教育活動の中で、体力の向上、健康の増進を図る(体力達成目標の推進)
- (6) 服務に厳正で、家庭・地域・児童・保護者に信頼される教職員組織をつくる
- (7) 学力向上に関する先進校としての自覚と自負を持ちつつ、新たな研究に取り組む
- (8) 目標や課題を明確にした学年・学級経営に努める
- (9) 学校応援団のさらなる活用を図り、家庭・地域社会との連携を一層図り、開かれた学校づくりに努める
- (10) 行政や地域との連携を一層深め、体験活動の重視と共に児童の健全育成に努める

特色ある学校づくりの推進 ※授業研究を柱とした校内研修の充実

- 1 「生きる力」と「確かな学力」をはぐくむ学習指導体制の工夫・改善
  - (1) 1・2・3年交換授業 4・5・6年教科担任制
  - (2) 4・5・6年少人数指導（算数） 加配教員
  - (3) 1・2・3年チームティーチング（算数） わくわくティーチャー
  - (4) 学校応援団の活用・充実（年間計画に基づいた活用）  
外部指導者の積極的な導入（各教科等に指導者として、専門家を招聘）
- 2 実りある「総合的な学習の時間」（ひびきの時間）の実現
- 3 英語活動の充実（担任とALTの役割分担の工夫）
- 4 豊かな人間性や社会性をはぐくむ「心の教育」の充実
  - ・ 道徳教育の充実
  - ・ 交流教育の充実
  - ・ 読書活動の充実
- 5 あいさつが響き合い、規律のある学校